



## 2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月5日

上場会社名 新東工業株式会社  
コード番号 6339 URL <http://www.sinto.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
TEL 052-582-9211

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	106,049	26.3	2,508	24.9	2,246	53.3	470	84.9
2024年3月期第3四半期	83,978	8.0	3,339	208.6	4,815	79.4	3,115	103.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 144百万円 (98.6%) 2024年3月期第3四半期 10,644百万円 (177.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	8.97	
2024年3月期第3四半期	59.49	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	231,768	123,922	50.3	2,224.31
2024年3月期	187,963	127,140	64.1	2,301.09

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 116,674百万円 2024年3月期 120,568百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		20.00		24.00	44.00
2025年3月期		22.00			
2025年3月期(予想)				22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	27.3	3,500	35.3	3,300	56.1	2,000	77.0	38.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 29 社 (社名) エラスティコス社及びその子会社28社、除外 1 社 (社名) 新東Sプレジジョン株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	54,580,928 株	2024年3月期	54,580,928 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,126,620 株	2024年3月期	2,184,638 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	52,428,297 株	2024年3月期3Q	52,367,755 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界情勢は、長期化する中東地域の紛争ならびにロシアによるウクライナ侵攻による資源高や輸送コスト高のリスク、欧州における物価高による景気低迷を促すリスクがあり、先行き不透明な状況が続いています。一方で米国は、インフラ整備投資等により堅調に成長を下支えしていますが、トランプ大統領による関税引上げ等の政策に対して、経済混乱への警戒感が広がり不確実性が高まる兆しにあります。中国では、不動産市場の低迷や個人消費抑制等内需の不振と、廉価での輸出拡大による貿易摩擦リスクを抱え、不安定な状況にあります。総じて世界経済は堅調に推移しておりますが、依然、国・地域毎に成長度合いのばらつきがある状況にあります。

わが国において、企業の設備投資はデジタル、脱炭素やサプライチェーン強靱化や省力化・人手不足対応などを目的とした投資は拡大傾向が続く一方で、既往の円安や、天候不順による物価の高止まりが続き、消費マインドは低く、経済成長スピードは鈍い状況にあります。

当社グループの事業環境につきましては、主要なお客様である自動車産業において、国内では、EV車対応やスマート化等の事業成果が各社一様ではなく、業界再編の動きが活発化しており、欧州では、エネルギー高に伴うコスト上昇や中国への輸出減により、ドイツの製造業の落ち込みは深刻な状況にあり、市場は停滞状況にあります。一方で、AI関連需要拡大に伴う半導体関連業界の旺盛な投資意欲は持続し、電子業界向けを中心に部品・消耗品が堅調に推移しました。

こうした情勢下、受注高は対前年同四半期比15,857百万円増加の111,631百万円（前年同四半期比16.6%増）、売上高は同22,071百万円増加の106,049百万円（同26.3%増）、受注残高は同2,206百万円増加の66,175百万円（同3.4%増）となりました。収益につきましては、営業利益は同831百万円減少の2,508百万円（同24.9%減）、経常利益は同2,569百万円減少の2,246百万円（同53.3%減）、親会社に帰属する当期純利益は同2,644百万円減少の470百万円（同84.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

#### [表面処理事業]

表面処理事業は、エラスティコス社の子会社化や電子部品分野・ダイカスト分野への伸長により、売上高は21,237百万円増加の55,467百万円（同62.0%増）となりましたが、営業利益は、のれん償却負担等により同1,919百万円減少の847百万円（同69.4%減）となりました。

なお、受注高はエラスティコス社の子会社化に加え、インフラ関連の建設機械分野での大型案件の成約等で表面処理装置が堅調に推移したことで、同21,712百万円増の57,876百万円（同60.0%増）、受注残高は同833百万円増の11,173百万円（同8.1%増）となりました。

#### [鑄造事業]

売上高は、国内での大型プラント設備や海外での造型設備やアルミ鑄造設備の売上低調により、同524百万円減少の28,733百万円（同1.8%減）となりました。営業利益は、原材料費・エネルギー費、輸送費の高止まりの影響があったものの原価低減等により、同300百万円増加の337百万円（同815.8%増）となりました。

なお、受注高は生産設備の付帯装置は増加したものの、他の国内向け案件が低調に推移し、同3,749百万円減少の33,472百万円（同10.1%減）、受注残高は同4,519百万円増加の40,680百万円（同12.5%増）となりました。

#### [環境事業]

売上高は、大型案件が増加したものの、工作機械向け等は汎用集塵機の低調が影響し、同55百万円減少の8,211百万円（同0.7%減）となりました。営業利益は、原価上昇分の価格転嫁の効果や重量削減、工事費・輸送費削減等の原価低減により同85百万円増加の922百万円（同10.2%増）となりました。

なお、受注高は大型集塵装置やメンテナンスの好調な推移により、同165百万円増加の9,395百万円（同1.8%増）、受注残高は同972百万円増加の7,284百万円（同15.4%増）となりました。

#### [搬送事業]

搬送事業は、物流業界向けのリフト・コンベアでは2024年問題対応への作業環境改善のための導入や通販需要が継続して堅調に推移するとともに、大型案件の確保等により、売上高は、同1,010百万円増加の7,582百万円（同15.4%増）となりました。営業利益は、増収効果により同97百万円増加の917百万円（同11.8%増）となりました。

なお、受注高は中国市場減速の影響により工作機械向けが減速し、同525百万円減少の6,027百万円（同8.0%減）、受注残高は同1,188百万円減少の2,999百万円（同28.4%減）となりました。

[特機事業]

売上高は、高圧ロールプレスが減少しましたが、サーボシリンダの販売増加により、同535百万円増加の6,763百万円(同8.6%増)となりました。営業利益はサーボシリンダの売上増と原価低減が進んだことにより同273百万円増加の187百万円(前年同四半期は85百万円の営業損失)となりました。

なお、受注高は同1,708百万円減少の4,745百万円(前年同四半期比26.5%減)、受注残高は同2,930百万円減少の4,037百万円(同42.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、のれんの増加等により、前連結会計年度末に比べ43,805百万円増加し、231,768百万円となりました。

負債合計は、短期及び長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ47,023百万円増加し、107,846百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,217百万円減少し、123,922百万円となりました。

また、第1四半期連結会計期間末に、新たに子会社となったエラストィコス社の貸借対照表を連結しており、当第3四半期連結会計期間末における連結調整前の同社の個別の貸借対照表金額は、それぞれ資産合計56,281百万円、負債合計31,913百万円及び純資産合計24,367百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年11月6日付の「2025年3月期 第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,186	36,856
受取手形、売掛金及び契約資産	38,977	43,604
有価証券	9,375	5,200
製品	4,585	10,100
仕掛品	5,853	9,359
原材料及び貯蔵品	6,665	8,591
その他	3,777	7,081
貸倒引当金	△619	△837
流動資産合計	111,801	119,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,006	16,944
機械装置及び運搬具（純額）	5,798	11,917
その他（純額）	10,552	14,792
有形固定資産合計	31,358	43,653
無形固定資産		
のれん	26	20,664
その他	1,658	4,858
無形固定資産合計	1,684	25,523
投資その他の資産		
投資有価証券	34,226	34,163
その他	8,900	8,483
貸倒引当金	△8	△13
投資その他の資産合計	43,118	42,634
固定資産合計	76,161	111,811
資産合計	187,963	231,768

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,599	15,623
短期借入金	5,473	14,183
未払法人税等	1,714	274
賞与引当金	1,978	1,564
役員賞与引当金	238	219
製品保証引当金	241	244
受注損失引当金	313	193
その他	18,329	25,839
流動負債合計	41,888	58,143
固定負債		
長期借入金	8,971	35,131
役員退職慰労引当金	545	636
退職給付に係る負債	805	1,815
資産除去債務	38	38
その他	8,573	12,080
固定負債合計	18,934	49,702
負債合計	60,822	107,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,752	5,752
資本剰余金	6,319	6,173
利益剰余金	90,870	87,521
自己株式	△2,044	△1,990
株主資本合計	100,897	97,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,445	12,286
繰延ヘッジ損益	-	3
為替換算調整勘定	5,321	5,175
退職給付に係る調整累計額	1,904	1,751
その他の包括利益累計額合計	19,671	19,217
非支配株主持分	6,571	7,247
純資産合計	127,140	123,922
負債純資産合計	187,963	231,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	83,978	106,049
売上原価	60,110	75,064
売上総利益	23,867	30,985
販売費及び一般管理費	20,527	28,477
営業利益	3,339	2,508
営業外収益		
受取利息	401	347
受取配当金	566	572
持分法による投資利益	363	177
為替差益	183	-
その他	222	330
営業外収益合計	1,736	1,427
営業外費用		
支払利息	139	670
為替差損	-	138
支払手数料	-	495
その他	120	384
営業外費用合計	260	1,689
経常利益	4,815	2,246
特別利益		
固定資産売却益	130	360
投資有価証券売却益	0	-
その他	-	1
特別利益合計	130	362
特別損失		
固定資産売却損	4	81
固定資産廃却損	81	14
特別損失合計	85	95
税金等調整前四半期純利益	4,860	2,513
法人税、住民税及び事業税	894	1,152
法人税等調整額	635	624
法人税等合計	1,530	1,777
四半期純利益	3,330	736
非支配株主に帰属する四半期純利益	215	265
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,115	470



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,330	736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,801	△150
繰延ヘッジ損益	-	3
為替換算調整勘定	3,302	△501
退職給付に係る調整額	△73	△152
持分法適用会社に対する持分相当額	283	210
その他の包括利益合計	7,314	△591
四半期包括利益	10,644	144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,106	16
非支配株主に係る四半期包括利益	538	128

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更が四半期連結財務諸表及び連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を、税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,029百万円	3,035百万円
のれんの償却額	30	1,616

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	表面処 理事業	鑄造 事業	環境 事業	搬送 事業	特機 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	34,229	28,748	8,134	6,536	6,176	83,826	151	83,978	-	83,978
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	510	132	35	50	728	1,185	1,913	△1,913	-
計	34,230	29,258	8,266	6,572	6,227	84,555	1,336	85,891	△1,913	83,978
セグメント利益 又は損失(△)	2,766	36	836	820	△85	4,375	17	4,392	△1,053	3,339

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計及び福利厚生事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,053百万円には、セグメント間取引消去67百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,121百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	表面処 理事業	鑄造 事業	環境 事業	搬送 事業	特機 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	55,467	28,200	8,105	7,570	6,588	105,932	116	106,049	-	106,049
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	533	106	11	174	826	1,634	2,460	△2,460	-
計	55,467	28,733	8,211	7,582	6,763	106,759	1,750	108,509	△2,460	106,049
セグメント利益	847	337	922	917	187	3,212	66	3,278	△770	2,508

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設計及び福利厚生事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△770百万円には、セグメント間取引消去68百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△839百万円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費及び本社管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「表面処理事業」において、第1四半期連結会計期間にエラスティコス社を当社の連結子会社としていることにより、前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間の資産が56,281百万円増加しております。

なお、当該金額は、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「表面処理事業」において、第1四半期連結会計期間にエラスティコス社を当社の連結子会社としていることにより、当第3四半期連結会計期間において、のれんが20,656百万円増加しております。

なお、当該金額は、企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

関連情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
46,254	6,208	9,558	8,258	7,691	6,006	83,978

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾・インド・韓国・アセアン諸国

(2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ

(3) ヨーロッパ……………ドイツ・トルコ

(4) 南アメリカ……………ブラジル

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	中国	アジア	北アメリカ	ヨーロッパ	南アメリカ	合計
48,685	7,504	9,738	13,628	19,737	6,754	106,049

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基本とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………韓国・インド・台湾・アセアン諸国

(2) 北アメリカ……………アメリカ・メキシコ

(3) ヨーロッパ……………ドイツ・イタリア・フランス・ポーランド

(4) 南アメリカ……………ブラジル

## (企業結合等関係)

## 取得による企業結合

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：エラスティコス社 (Elastikos (France) S.A.S.)

事業の内容：投射材の製造・販売

## (2) 企業結合を行った主な理由

エラスティコスグループは、フランスに拠点を置き、欧州や北南米を中心に表面処理関連製品及びサービスを展開する事業者です。エラスティコスグループは技術力や質の高い技術サポートを背景に欧州や北南米のみならずインドや中国といった新興国にも多くの顧客を有しており、また近年はEコマースプラットフォームの開発やAIの活用等にも取り組んでいます。

当社は、エラスティコスグループが有する欧州の顧客販売チャネルを補完的に活用することで、欧州におけるエラスティコスグループの知名度を起点にインドや中国等の新興国においても取引先拡大が期待できると判断し、契約の締結に至りました。

## (3) 企業結合日

2024年4月4日

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによります。

## 2. 連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年4月1日から2024年9月30日まで

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 26,488百万円

取得原価 26,488百万円

## 4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれんの金額

22,757百万円

当該金額は、企業結合日時時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。

## (2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

## (3) 償却方法及び償却期間

7年にわたる均等償却